

あなたに薦める『この一冊』7月

『生き方』稲盛和夫[著] サンマーク出版

国語教諭 寺田 健悟
高校 3年6組・7組 副担任



この本に出合ったのは確か僕が大学に入学した頃でした。大学に少し飽き飽きしていた時期でした。

何かきっかけがほしいと大学の書店に並ぶ本たちと毎日ならめっこをしていました。

そんなとき、自分は「経営哲学」というものに強く惹かれました。人の上に立つ人がどんな心構えで日々仕事に向き合っているのかを知りたくてたまらなくなりました。「生き方」という本はまさに「衝撃」でした。

どこかで人を騙したり、蹴落としたりしなければ社会で成功できないのではないかという不安を感じていた自分にとって稲盛和夫さんの言葉は新鮮で、涙するときもありました。こんなにも心の温かい経営者が日本に存在するんだとわかったとき、本当に救われた感覚になりました。また、本の中に何度も登場する「利他の心」という言葉が大好きになり、自分以上に周りの人に利があるようにと行動し続ける稲盛和夫という経営者を心から尊敬するようになりました。京セラやKDDIの創業者としてはもちろんですが、JALの経営再建にも尽力された功績は今後も語り続けられるでしょう。

本は手頃な価格でありながら人の人生物語が余すことなく載っている素晴らしいものです。自分の心にヒットする本との出会いをみなさんも楽しんでいってくださいね。

★著者『稲盛和夫(いなもり かずお)』豆知識★

[生] 1932.1.30. 鹿児島県、鹿児島市

京セラの創業者。……京セラフィロソフィと呼ばれる経営哲学で全社員を結束させ、超能力にも興味をもつ。経営塾「稲盛塾」を主宰し、経営者の育成にも力を入れている。スウェーデン王立科学技術アカデミーの海外特別会員でもある。……経営管理手法として「アメーバ経営」をつくり上げたことでも知られている。アメーバ経営は、6～7人を小集団として組織して、その時間あたり採算の最大化を追求する。係数管理能力に優れたリーダーを育成するとともに、小集団相互の競争意識を高めるねらいもある。盛和会の会員など稲盛を信奉するベンチャー経営者がアメーバ経営を導入、踏襲している。……

出典：ブリタニカ・オンライン・ジャパン

★寺田 健悟(テラダ ケンゴ)先生の紹介★

*担当科目・クラス

国語b (中2年1組、2組)

国語演習(高3年4・5・6・9組)

企業探究(高1年5・6組)

*星座 → おひつじ座

*趣味 → 料理、日本酒

*自分の中学・高校生活

中学時代は部活動(野球部)一筋。

高校も野球部だったが怪我で挫折。

*本校生の印象

殻を被っているような印象がある。

*感動した本

『ボックス』 百田尚樹[著] 講談社

*読むことが望ましい本

『お金でなく、人のご縁ででっかく生きろ!』

中村文昭[著] サンマーク出版



「稲盛塾」門下生の実践エピソードも多数掲載!

図書館所蔵同著者の作品

・『何のために生きるのか』(※五木寛之との共著)

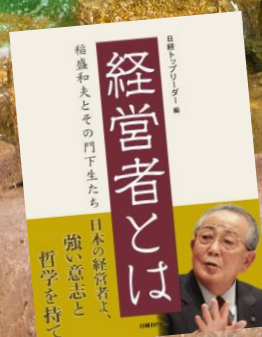
致知出版社



五木寛之と稲盛和夫。共に昭和7年生まれ。13歳で敗戦。その後、様々な精神的遍歴を踏み越えて一人は作家、一人は実業家に。そのふたりが長い歳月を経て、ここに出会い、「魂の友」として縦横に語り合った――。

・『人を生かす』 日本経済新聞出版社

社員を幸福にして、会社は発展。原理原則をはき違え、人材をくさらせるリーダーがなんと多いか。一丸となって危機を打開し、夢を実現するチームをどう育むか。京セラ、KDDIを創業し、経営する中で悩み抜いた末にたどり着いた、人や組織を生かすための独自の実践哲学・ノウハウを公開。若手経営者のための経営塾「盛和塾」の問答から厳選して編集。



努力すれば誰でも経営者になれるのか。それとも「選ばれし人」しか入れないのか。師の言葉を通し「経営者」について呻吟した門下生たちは、その先に何を見いだしたのか。稲盛和夫氏の長時間インタビューと、稲盛経営を実践する盛和塾生の体験談から、根源的な問いに迫る。

編集後記:「経営の神様」とも称される稲盛和夫。さぞ輝かしい経歴の持ち主かと思いきや、貧困と病気、そして度重なる挫折の連続を経験してきた人物です。彼の人生と著書から、あきらめない心をはぐくんでほしいと思います。